



プラスチック系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

明治維新後、建築物の洋風化とともに欧米の内装仕上げ技術が導入されました。特に 官公庁、病院、大型ビル等の床仕上げにおいては、塩ビタイル、塩ビシート等の施工が主流になっていきました。床は常に人間と接触する部分なので、凹凸が無く歩きやすい施工が求められます。

競技概要 競技時間 4時間30分(1日)

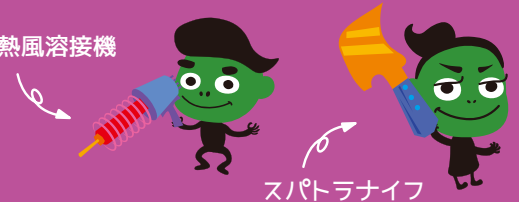
競技はプラスチック系床材であるタイルやシートを用い、平坦な部分(平場)と階段部分に割り付け、カッティング、張り付けなどを行っていくものです。文字やパイプの周りなどは、特に繊細な技能が必要とされます。

Point

本来硬い床材が、まるで紙を切るが如くに操られています。より美しく、より正確に仕上げることを競い合っています。

各材料がすきま無く、自然な形で競技架台のなかに収まり、仕上がっていく様子が見所です。技能士のワザの出どころです。

熱風溶接機



スパトラナイフ



第31回 競技課題

前回大会 金メダリストからメッセージ!

若い人に、どんどんこういう仕事に入ってもらって、焦らずにやっていってもらえればいいかなと思います!



床タイル



(株)岩野商会
岡田 啓介さん